



第 94 回学術総会における YEC 企画セミナー

日本内分泌学会若手・中堅の会 (Young Endocrinologist Conference : YEC) は、内分泌代謝領域の基礎及び臨床研究を志す若手・中堅研究者の育成を恒常的に促すことを目的として 2009 年に発足しました。内分泌代謝学サマーセミナーでの企画から始まり、近年は内分泌学会学術総会にも拡がって参りました。これらの活動を通して、本学会の若手・中堅研究者に影響を与えてこられたものと考えています。これまでの歴史や活動内容など、日本内分泌学会の website 内に YEC のページを設けて頂きましたので、そちらもご覧下さい。

本学術総会での企画として「YEC シンポジウム」を準備いたしました。130 名を超える YEC メンバーの先生方からテーマを募集し、YEC 世話人で検討を重ねました。まず、4 月 22 日 (木) 10 時 20 分からの YEC シンポジウム 1 では「**エクソソーム最前線**」と題して、がん研究所の**高橋暁子先生**、大阪大学の**喜多俊文先生**、東京医科大学の**落谷孝広先生**にご講演をお願いしました。翌 23 日 (金) 10 時からの YEC シンポジウム 2 では「**マルチオミクス解析による内分泌研究の新地平**」として、東京大学の**黒田真也先生**、名古屋市立大学の**田中智洋先生**、千葉大学の**田中知明先生**に、引き続き同日 11 時 30 分からの YEC シンポジウム 3 では「**ミトコンドリアを読み解く**」とのテーマで、大阪大学の**石原孝也先生**、筑波大学の**宮本崇史先生**にご登壇頂きます。世界をリードする研究を遂行されている先生方をお招きすることができ、YEC 世話人一同、自信を持ってお勧めできると自負しております。ご興味をお持ちの先生方には是非ご参加頂き、シンポジウムを盛り上げて頂きますと幸甚です。

これらの企画はすべて、YEC という若手・中堅の集団が議論を重ね、ボトムアップ方式で学会を盛り上げ、研究者を勇気づけたいとの思いから出来上がってきたものです。将来的には、YEC 活動! などと特に声を張り上げなくとも自然に研究者が集まって互いに刺激し合える会、鼓腹撃壤といった風な遊びを自ずと体現できるようになるのが最終目標です。本企画がその導火線の一つとなりますことを祈念しております。

最後になりましたが、大会長の山田正信先生をはじめ YEC プログラムに込められた思いに賛同下さった多くの先生方、事務局の方々、快く講演を引き受けて下さった演者の先生方に改めて深謝申し上げます。

YEC 世話人代表

名古屋大学大学院医学系研究科 糖尿病・内分泌内科学
須賀 英隆

YEC 世話人

笹子 敬洋 (東京大学)、藤坂 志帆 (富山大学)

横田 健一 (慶應義塾大学)、稲葉 有香 (金沢大学)

岩間 信太郎 (名古屋大学)、森下 啓明 (愛知医科大学)

山本 雅昭 (神戸大学)